

議会報告

2018年・新春号

2017年度12月議会のご報告

寒川町議会では2017年度12月議会が、11月28日から12月15日までの日程で開かれました。本会議においては町税条例の一部改正についてや道路占有料条例の一部改正について、また平成29年度の補正予算など、全11議案が審議され、全て原案通りの採択となりました。また各委員会では全10件の陳情が審議されました。また合わせて一般質問も行われ、私、小泉しゅうすけは「花のまち湘南寒川の取り組みについて」「災害時の危機管理体制について」の二本立てにて一般質問を行いました。

花のまち湘南寒川の取り組みについて

今回の質問では、町を美しくし、また町を盛り上げるため、既に町内各地で取り組まれている花を植える運動をさらに広げることを訴え、花のまち湘南寒川の取り組みについてと題した質問を行わせていただきました。多くの皆様もご存じの通り、寒川北インター入口には「花のまち湘南さむかわ」の大看板が設置されております。この看板は町内で花を生産される農家の方が多くということによって設置された…との話ですが、寒川神社以外には全国的に知られた観光スポットが乏しい寒川町ですので、花がいっぱいの町として寒川町を観光の面でも盛り上げることを提案するため、今回の質問を行いました。

質問では大きく3点 ①寒川産の花を全国に広めること ②私も参加させていただいているライオンズクラブでの県道沿いの花作りなど、多くのボランティアの皆様により町内の各地で行われている花壇整備を町としても力を入れさらに広げること ③町と町民の協働事業として花を植え育てることを広げること を中心に訴えさせていただきました。

花壇整備に関連しては、町の玄関口となる寒川駅北口を花のまちとしてふさわしい風景にすべく、ロータリーや駅前公園を花で彩られた場所にすることを提案しました。町からは『区画整理事業によって整備されたばかりであり改めて花壇の整備は難しいが、各種団体の協力をいただくような体制作りを含めて模索していきたい』との回答がありました。

また花による町おこしの事例としては、静岡県の三島市



衆議院選挙にて応援演説



県道沿いの花作り

の「ガーデンシティみしま」などがあります。こちらでは市民に対しての講習会などの啓発活動からはじまり、町内会への呼びかけによる全域への展開、さらには企業にもスポンサーになってもらう花壇整備など、徹底した取り組みが行政が中心となり行われております。私からはそうした事例を紹介しつつ、町としてもそれくらいの力強い施策があっても良いのではないかと訴えたところ、町からは『そうした先進事例も踏まえ、研究しながら、町民の皆さんの関心を高めていきたい』との回答がありました。

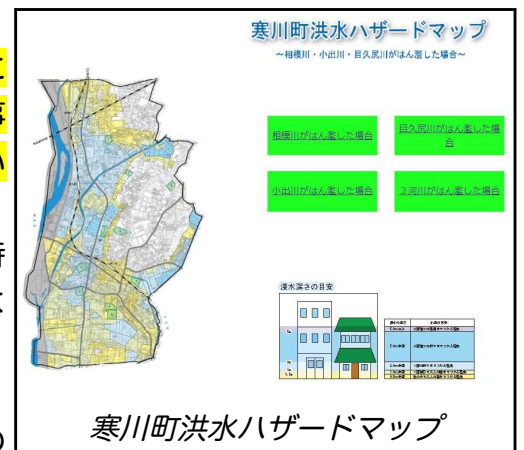
花の咲く風景は見る人々の心を和ませ、町の魅力を向上させる効果があります。そして現在、多く見られる道路へのゴミのポイ捨ても、花壇が出来ると少なくなるという効果も考えられ、結果として美しい町となることも期待されます。美しく心豊かなまちづくりを目指し、小泉しゅうすけは今後とも積極的な提案活動を行っていきます。

災害時の危機管理体制について

続いての質問では、先の9月議会における質問の続きとしまして、洪水対策を中心とした町の危機管理体制について質問を行わせていただきました。豪雨の際に洪水の被害を防ぐとなると、河川の堤防の整備や下水や農業用水の維持管理が必要となり、町だけではなく国や県にもしっかりとした対応が求められます。そこで今回は町の努力で出来ることとして、①ハザードマップの整備 ②洪水災害時の町の業務体制 ③洪水災害時の町民の安全対策 ④地震や洪水以外の災害への想定と対策 の4点にわたり質問をさせていただきました。

ハザードマップとは洪水発生時に最大でどの程度の浸水被害が予測されるかを明示した地図のことで、町では10年ほど前に印刷されたものが全戸配布され、また町のホームページでも閲覧できるようになっております。一方、近年発生した福岡県や茨城県での洪水の事例を見ますと、事前の予測を超えた被害が発生し、被害も拡大してしまいました。寒川町でのハザードマップを見ますと、相模川は150年に一度、目久尻川と小出川は50年に一度という大雨を予測していると記載されておりますが、この予測が実情に合っているのかを問いました。町からは『現在、国と県で考えられる最大規模の降雨により河川が氾濫した場合の想定に見直されているので、できるだけ早く新たなハザードマップを作り周知したい』との回答がありました。

洪水災害時の業務体制については、東日本大震災の際に被災地の役場も甚大な被害を受け、戸籍情報が失われた事を例に挙げ、町としての情報の保持体制について質問をいたしました。この質問に対しては、町では東日本大震災後、複数の方法で日々、ないしは週ごとに遠隔地に情報を保持するなどの体制が取られており、重要情報が消失しないよう努めているとの回答がありました。



寒川町洪水ハザードマップ

洪水災害時への備えとしては、私の方からは町で多くの

町民の皆様との共同で開催されております総合防災訓練において、洪水に備えた避難訓練などを行うべきではないかと問いました。町からは『現在は土のうづくりなどは行っているが、水防に特化した訓練はしていない。今後、洪水に対応した訓練内容の盛り込みも検討する』との回答がありました。

さらに地震や洪水以外の災害への備えとして、富士山の噴火や圏央道での大規模事故への備えも訴えさせていただきました。富士山の噴火については『最大で30cmの降灰が予測されライフラインなどへの影響が考えられるので、今後は県や近隣市町と連携して防災対策を検討していきたい』と、また圏央道での大規模事故については『高架下に影響が出るような際には消防団の出動で対応する』との回答がありました。

河川の下流域であり標高も比較的低いという寒川町の地理的特性や、過去には台風などの際に幾度と浸水被害が出ていることを考えると、洪水への備えは地震への備えと同じくらいに重要なものであると考えます。また新たな災害に対しての備えも必要です。今後とも町民の皆様の安全を守るため、小泉しゅうすけは全力で頑張ります。

衆議院選挙での応援について

私、小泉しゅうすけは、2017年2月の選挙で寒川町議会議員として初当選をさせていただくまで、衆議院議員あべともこの秘書を務めておりました。そうした縁もありまして、10月10日から21日までの日程で行われました衆議院選挙においては、あべともこ陣営のインターネット選挙担当者としてお手伝いをさせていただきました。

インターネットでの選挙運動は2013年から解禁された、まだ歴史の浅いものでして、どういうことが出来るのかなどまだまだ手探りです。またネットでの広報ですから、スピード感が非常に求められます。時にはリアルタイムで、追いつかない場合でもその日のうちにはネットに当日の選挙運動の様態を公表していく体制を取る必要があります。そこで私、小泉しゅうすけは、常にパソコンと一眼レフカメラとビデオカメラを担ぎ、撮った写真はその場でネットに投稿、時にはツイキャス*1でのリアルタイムで映像の配信を行い、もしくはその日のうちに映像を編集してYoutube*2に投稿などといった活動を行いました。



またTwitter*3やFacebook*4などのSNSへの投稿だけではなく、ホームページ*5もCMSという動的に日々の更新が出来るシステムを使い構築し、速やかに情報を投稿できるようにしました。秘書になる以前、私はIT系メーカーに勤務していたこともあり、こうしたインターネットやコンピューターなどの技術に明るいという、議員としては少々珍しいと思われるスキルを持っておりまして、今回の衆議院議員あべともこの選挙運動においてもそのスキルを生かし、協力をさせていただきました。

選挙中は前記の通り、ほぼ連日、朝から晩までの活動となりましたが、皆様のおかげもあって小選挙区での当選が叶い、私もほっとしております。また今後とも、政治におけるインターネットでの広報という部分においても、応援したい方や団体への協力は続けていくと共に、私自身もまっとうな政治の実現のためにこれからも全力で頑張ります。

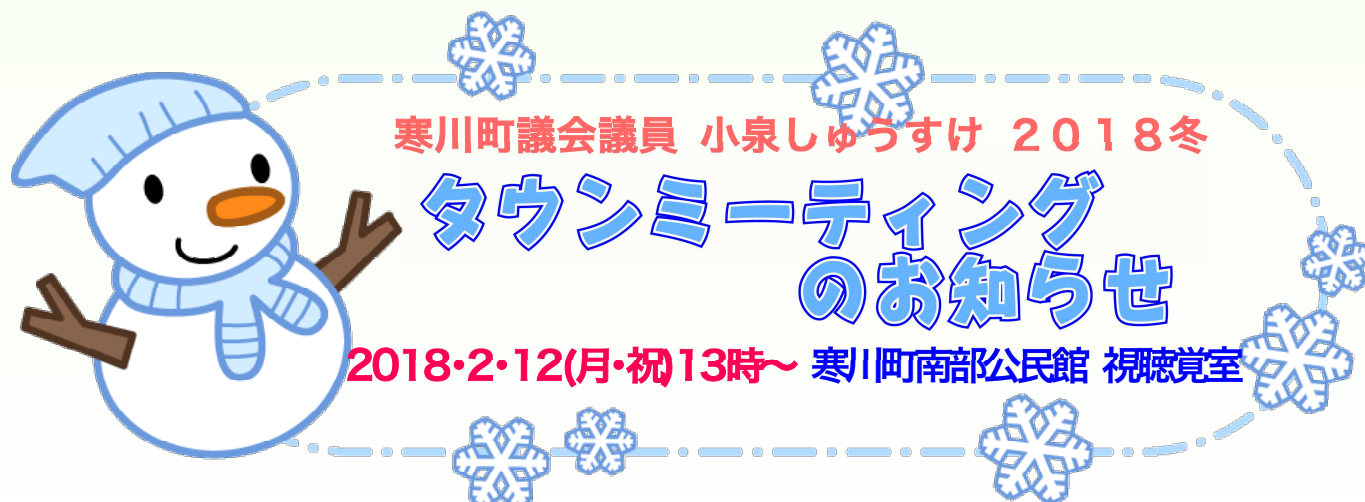
*1 http://twitcasting.tv/abe_tomoko

*2 <https://www.youtube.com/channel/UCcEHxICi4OyutnJkPbqEQng>

*3 https://twitter.com/abe_tomoko の(スタッフS)が私の投稿です。

*4 <https://www.facebook.com/abetomoko.jp/> の(スタッフS)が私の投稿です。

*5 <http://www.abetomoko.jp/>



寒川町議会議員の小泉しゅうすけです。2月の初当選以降、1年を経まして、町民の皆様の声を議会の場で伝え、町政に反映していくため、一般質問や委員会の質疑などで様々な取り組みを行ってまいりました。

この度、南部公民館で2/12(月・祝)に開催しますタウンミーティングでは、小泉しゅうすけからは3月議会での予算特別委員会質疑を前にした議会のご報告を、そしてご来場いただいた皆様方からは『こんな取り組みをしてほしい』『町にこんなことをして欲しい』などお気軽にご意見を頂ければと思います。本会終了後、3月議会も始まります。頂いたご意見は議会でも積極的に反映していきたいと思っておりますので、ぜひご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

小泉しゅうすけ(秀輔)プロフィール

1978年8月2日生まれ 現在39歳。IT系大手メーカー勤務/外注ゲームライターを経て、衆議院議員阿部知子の秘書に就任。2017年2月の寒川町議会議員選挙に当選し、現在、寒川町町議として1期目。大志会所属。議会にて建設経済常任委員・総務常任委員。また町の青少年問題協議会委員。地域では寒川ライオンズクラブ会員・寒川青年会議所会員としても活動中。



小泉しゅうすけとあたたかな寒川を作る会 2017年12月発行(討議資料)

〒253-0106 寒川町宮山1268-4クレイン栗原D号室

Tel : 080-7016-4802 Mail: koizumi@samukawa.info Web : <http://koizumi.samukawa.info/>